

大学運営に関する活動



学生自治会は、大学運営や大学改革が進められる際に学生の実情が考慮されなければ、学生に不都合が生じる可能性があると考えます。そこで学生自治会は、大学運営や大学改革について情報収集とみなさんへの情報発信を行い、必要に応じて学生の実情を大学に伝えるなどの活動を行っています。

□ 府市大統合に関する活動を行います

昨年の4月に府市大統合の延期が発表されましたが、府市大統合に関する議論は現在も続いています。実際に統合が行われた場合にキャンパスの場所はどうなるのか、カリキュラムはどう組み立てられるのかなど、府市大統合が学生に与える影響は大きいと考えられます。

そこで学生自治会は、府市大統合について情報収集を続け、みなさんに情報発信を行うとともに、必要に応じて関係各所と話し合いを行うなどの活動を行います。



□ 大学運営に関する活動を適宜行います

大阪府立大学が進めている学域・学類制や第2期中期計画をはじめとした運営計画などは、学生が学生生活を送る上での重要な事項です。それらについて、学生自治会は情報収集や情報発信などの活動を適宜行います。

学域・学類制に関連して、現在物質化学系学類では特定の科目の受講機会に差異が生じています(※)。これに対して学生自治会は該当学生にアンケートを行い、昨年12月25日に前川機構長へアンケートの結果を提出し、改善を求めました。この件の検討結果を前川機構長から得られた際は、みなさんに情報発信を行います。

また、運営計画については教育設備負担金の導入や教員の削減、新たな減免制度や奨学金制度の検討など、学生に対して影響の大きい項目が多く含まれています。学生自治会はこれらの動向を注視し、適宜活動を行います。



※『健康・スポーツ科学演習Ⅰ』と『健康・スポーツ科学概論』は、物質化学系学類においては学籍番号によって前期開講クラスと後期開講クラスに分けられています。しかし、物質化学系学類の一年次前期では、後期と違い必修科目と初修外国語を履修するとCAP上限に達するため上記科目が受講できなくなります。そのため、前期開講クラスと後期開講クラスにおいて受講する機会に差異が生じています。